



2021年5月11日

各位

会社名 蝶理株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 先濱 一夫  
 (コード: 8014、東証第1部)  
 問合せ先 経営管理部長 河村 泰孝  
 (TEL. 03-5781-6201)

## 2021年3月期の剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2021年5月11日開催の取締役会において、2021年3月31日を基準日とする剰余金配当の実施を下記の通り決議しましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年2月8日公表)	前期実績 (2020年3月期)
基準日	2021年3月31日	同左	2020年3月31日
1株当たり 配当金	23円00銭	23円00銭	32円00銭
配当金の総額	565百万円		785百万円
効力発生日	2021年6月3日		2020年6月17日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

## 2. 理由

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、機動的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から、親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施し、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。配当額につきましては、事業発展のための投資資金の確保に留意しつつ、経営環境等を総合的に勘案し、連結配当性向30%(年間)以上としています(2020年度より拡充)。

しかしながら、本日公表の「2021年3月期通期業績予想と実績値の差異及び貸倒引当金繰入額の追加計上に関するお知らせ」に記載の通り、中国の澄星集団グループに対して有する債権全額に対し貸倒引当金繰入額を追加計上しました。その結果、2021年3月期通期連結業績は2021年2月8日に公表した業績予想を利益面で下回りましたが、足もとの本業の業績は順調に推移しており、また財務基盤も堅固なことから、それらを総合的に判断し、期末配当金につきましては同日公表した期末配当予想通りの1株当たり23円とすることを決定しました。これにより、中間配当金1株当たり14円と合わせ、年間の配当金は1株当たり37円となります。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金			配当性向
	第2四半期末	期末	年間	
当期実績	14円00銭	23円00銭	37円00銭	72.9%
前期実績(2020年3月期)	31円00銭	32円00銭	63円00銭	25.4%

以上